

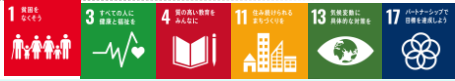
第2回熱中症対策推進会議 概要

(令和3年7月2日開催)

- 会議では、気象庁より今夏の天候の見通しについて、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会より東京2020大会における暑さ対策について説明がなされた。
- また、高齢者におけるエアコンの使用促進策や子どもの熱中症対策、こまめに水分補給できるようマイボトル用の給水器の普及、再生可能エネルギーの普及に資する熱中症対策などの論点について、関係府省庁間で議論が行われた。
- 特に、高齢者世帯のエアコンについては使用促進のための検討を加速させること、マイボトル用の給水器の普及については、こまめな水分補給を促進するため、まずは関係府省庁の所管施設等においてマイボトル用の給水器の設置等について検討を進め、次回の本会合において進捗を報告することについて関係府省庁間で合意した。

高齢者世帯におけるエアコンの使用促進策

2021年11月
環境省環境安全課



【令和4年度要求額 322百万円（172百万円）】

地域の特性を考慮し社会が一体となって取り組む、総合的な熱中症対策を促進します。

1. 事業目的

- ・新たな課題への対応も含めた知見の収集やその効果的な発信方法を検討しとりまとめる。
- ・熱中症に関する必要な知識の普及啓発を行い、一人一人の予防意識を向上させ、熱中症の発生の減少を目指す。
- ・地方自治体での総合的な熱中症予防対策を促進するとともに、高齢者世帯等におけるエアコンの普及促進を図り、社会が一体となって熱中症対策に取り組むことを目指す。

2. 事業内容

気候変動の進展等を踏まえ、社会全体で熱中症予防に取り組むことが重要。令和4年度は「地域における熱中症対策ガイドライン（仮称）」の策定やモデル自治体事業の支援、高齢者に世帯におけるエアコン普及促進事業を行う。各地方自治体における包括的・体系的な熱中症対策の整理・実行を支援し、社会が一体となって、より効果的な取組を促進する。そのために必要な知見の収集やその効果的な発信方法についてとりまとめる。

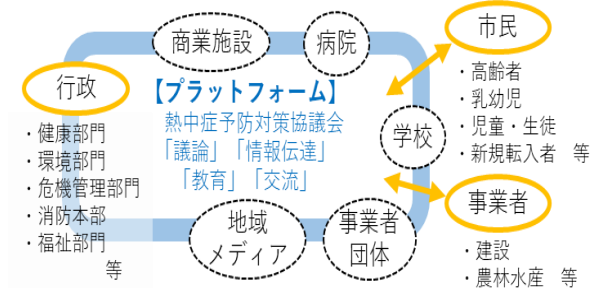
- (1) 熱中症に係る啓発資料作成事業
- (2) 熱中症対策に係る指導者養成事業
- (3) 地域における効果的な熱中症予防対策の推進に係る事業
 - ・ 地域における熱中症対策ガイドライン策定に係る事業
 - ・ サブスクリプションを活用したエアコン普及促進モデル事業
- (4) 新型コロナウイルス感染症の感染予防策との両立等に対応した熱中症対策の検討・推進事業

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者
- 実施期間 平成24年度～

4. 事業イメージ

地域における効果的な熱中症予防対策の推進に係る事業
 図：地域における熱中症対策に関する連携のイメージ
 （令和元年度熱中症予防対策ガイダンス事業より）



新型コロナウイルス感染症の感染予防策との両立等に対応した熱中症対策の検討・推進事業
 図：「新しい生活様式」における熱中症対策のイメージ
 （環境省・厚生労働省リーフレットより）



地域における効果的な熱中症予防対策の推進に係る事業

対策の方向性

- 熱中症対策行動計画においては、**年1000人以下の死亡者数**の達成に向け、**高齢者等**における**屋内**の熱中症対策の強化等を重点分野としている
- 特に地域における熱中症対策が重要であるとし、**地方自治体を中心**とした地域での見守り、**産業界とも連携した取組等**の促進を図ることとしている。

令和2年夏の東京都23区における熱中症死亡者の状況

エアコン設置有無・使用状況別

不明, 4人, 2% エアコン有・使用有,

15人, 8%

エアコン無,
66人, 35%

エアコン有・使用無,
102人, 55%

ハード対策

- ①サブスクリプションを活用したエアコン普及促進モデル (サブスクモデル事業)

ソフト対策

- ②地域における熱中症対策ガイドライン策定に係る事業 (地域モデル事業)

▶ 令和4年度要求2.7億円の内数 (新規)

令和4年度要求2.7億円の内数 (令和3年度1.0億円)

計200人 (速報値) のうち

- ・ 約9割は65歳以上の高齢者
- ・ 約9割は屋内
- ・ 約9割はエアコンを使用していなかった

サブスクリプションを活用したエアコン普及促進モデル事業

課題

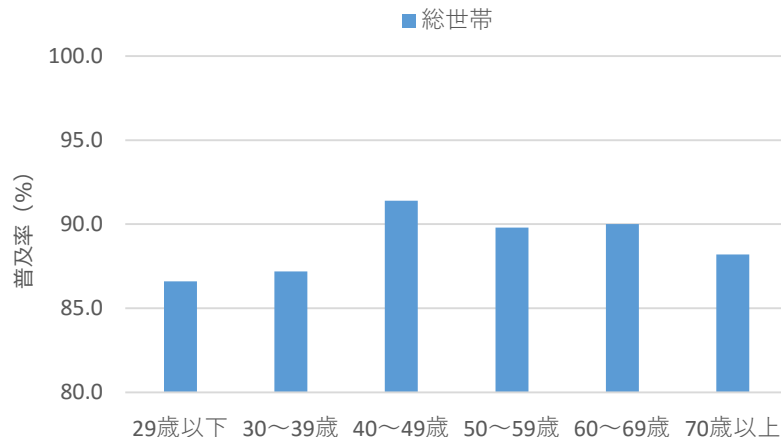
- 特に低所得高齢者におけるエアコンの普及については、初期の高額な費用負担がネック
- 事業者からは、エアコンの初期費用低減に資するサブスクリプションビジネスに対し期待が寄せられている状況

事業の意図・目的

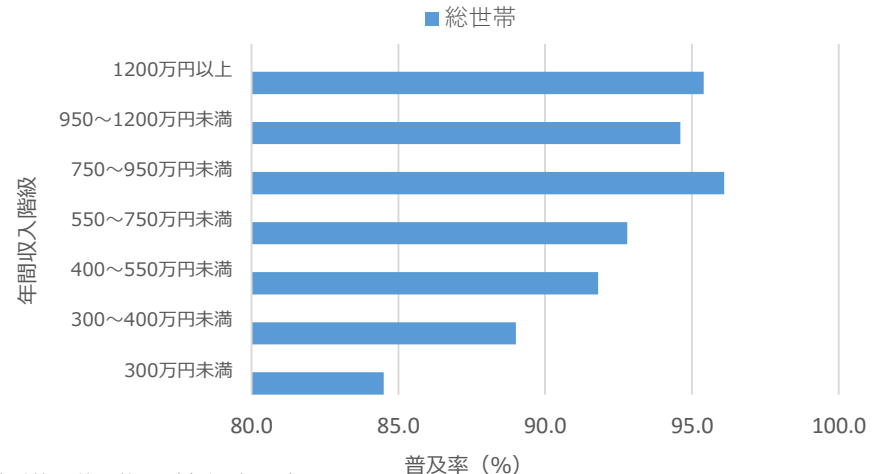
※サブスクリプション方式：一定期間、定額料金を支払い、「利用」するサービス

- サブスクリプションによるビジネスモデル確立により、エアコン初期費用を抑えることで、エアコンの普及を図り熱中症予防を促進させる
- 「所有」から「利用」へ社会システムの転換に図ることによる廃エアコン回収率の向上などサーキュラーエコノミーの進展に貢献
- 省エネの進んだ高性能エアコンの普及促進によるCO2削減にも貢献

ルームエアコン普及率：世帯主の年齢階級別



ルームエアコン普及率：世帯の年間収入階級別



(出典) 内閣府消費動向調査 主要耐久消費財等の普及状況 (令和3年3月)